

## 【冬の入浴中の事故に要注意】

### 1 なぜ、冬に高齢者の入浴事故が多くなるの？

入浴時の事故が多くなる原因の一つは、急な温度差による血圧の急激な変化です。暖房のきいた暖かい部屋から、冷え込んだ脱衣所へ移動して衣服を脱ぎ、浴室も寒いと、血管が縮まり血圧が一気に上昇します。その後、浴槽に入り体が温まってくると血管が広がり、急上昇した血圧が下がります。この急激な血圧の変化により、一時的に脳内に血液が回らない貧血の状態になり一過性の意識障害を起こすことがあります。浴槽内での意識障害が溺れて死亡する事故の原因の一つとして考えられています。特に65歳以上の高齢者は、血圧を正常に保つ機能も衰えてきている場合がありますので注意してください。また、血圧が不安定な場合、風呂場でめまいや立ちくらみを起こしたことがある方も注意が必要です。



### 2 入浴中に溺れる事故を防ぐためには？

入浴中の事故は、持病や前兆がない場合でも起こるおそれがあります。「自分は元気だから大丈夫」と過信せず、「自分にも起きるかもしれない」という予防意識をもちましょう。高齢者だけでなく、家族みんなで、次の6つの対策を心がけましょう。

- ・入浴前に脱衣所や浴室を暖めておく
- ・湯温は41度以下、お湯につかる時間は10分までを目安にする
- ・浴槽から急に立ち上がらない
- ・食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避ける
- ・お風呂に入る前に、同居する家族にひと声かける
- ・家族は入浴中の高齢者の動向に注意する

(出典:政府広報オンラインより)

## 新河端病院 理念

### 信頼と安心の医療

- ・患者様に感動をしていただける医療を実践します
- ・患者様に選んでいただける病院づくりを実践します

## 「患者さまの権利」

- 患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。
- ・医療を受ける権利
  - ・知る権利
  - ・自分で決定する権利
  - ・プライバシーを守られる権利

医療法人 医修会 新河端病院